

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年9月28日
【四半期会計期間】	第44期第2四半期（自平成24年5月21日至平成24年8月20日）
【会社名】	アーランドサカモト株式会社
【英訳名】	ARCLAND SAKAMOTO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 坂本 勝司
【本店の所在の場所】	新潟県三条市上須頃445番地
【電話番号】	0256(33)6000(代表)
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 兼 管理本部長 坂本 雅俊
【最寄りの連絡場所】	新潟県三条市上須頃445番地
【電話番号】	0256(33)6000(代表)
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 兼 管理本部長 坂本 雅俊
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第43期 第2四半期 連結累計期間	第44期 第2四半期 連結累計期間	第43期
会計期間	自平成23年 2月21日 至平成23年 8月20日	自平成24年 2月21日 至平成24年 8月20日	自平成23年 2月21日 至平成24年 2月20日
売上高(百万円)	49,156	49,187	95,330
経常利益(百万円)	5,281	5,106	8,960
四半期(当期)純利益(百万円)	2,571	2,787	4,280
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	2,670	2,966	4,508
純資産額(百万円)	39,081	43,239	40,614
総資産額(百万円)	63,221	64,332	63,334
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	126.81	137.46	211.06
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	59.7	64.7	61.9
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	4,472	3,078	2,196
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	603	1,514	2,848
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	3,662	1,792	654
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	2,880	2,448	2,677

回次	第43期 第2四半期 連結会計期間	第44期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年 5月21日 至平成23年 8月20日	自平成24年 5月21日 至平成24年 8月20日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	72.65	69.47

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第43期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成24年2月21日から平成24年8月20日まで）における国内経済は、緩やかながら東日本大震災の復興需要等を背景として、一部に持ち直しの動きが見られたものの、長引く円高や欧州の政府債務危機等による欧米経済の先行きへの懸念などから、雇用・所得環境は改善しないまま、個人消費が伸び悩む厳しい状況が続くこととなりました。

このような環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は491億87百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は47億53百万円（前年同期比4.8%減）、経常利益は51億6百万円（前年同期比3.3%減）、四半期純利益については前年同期に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額等の計上があったことにより、27億87百万円（前年同期比8.4%増）と増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<小売事業>

巨大店舗がリードするホームセンター部門の売上高は、342億円（前年同期比3.6%減）となりました。昨年オープンした新店2店舗が寄与したものの、昨年の東日本大震災直後の復旧等需要の反動に加え、春先及び初夏の低温によりホームセンター既存店売上高が前年同期比8.0%減となったためであります。

その他小売部門の売上高は34億35百万円（前年同期比3.4%増）となりました。4月にオープンしたアークオアシスデザイン金沢店が寄与したこと等によるものであります。

その結果、小売事業の売上高は376億35百万円（前年同期比3.0%減）となりました。粗利率は改善したものの、営業利益については減収に伴う減益を補えず、25億69百万円（前年同期比20.3%減）となりました。

<卸売事業>

全国のホームセンター既存店売上高は低迷する中で、新規取引先の開拓に努めた結果、卸売事業の売上高は41億4百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は6億55百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

<外食事業>

外食事業は、主力のとんかつ専門店「かつや」の直営店が前年同期末比10店舗増加等、積極的な事業展開により、売上高は61億44百万円（前年同期比16.5%増）、営業利益は9億75百万円（前年同期比36.2%増）と好調に推移しました。

<不動産事業>

不動産事業の売上高は13億2百万円（前年同期比13.5%増）、営業利益は5億38百万円（前年同期比49.5%増）と好調に推移しております。

(2)財政状態に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比較して9億98百万円増加し、643億32百万円となりました。前連結会計年度末の開散期に比べ繁忙期となるため、流動資産が増加したことが主な要因であります。

負債は前連結会計年度末に比較して16億27百万円減少し、210億92百万円となりました。有利子負債及びその他流動負債の減少が主な要因であります。

純資産は前連結会計年度末に比較して26億25百万円増加し、432億39百万円となりました。四半期純利益により、利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(3)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比較して2億29百万円減少し、24億48百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、30億78百万円（前年同期は44億72百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益50億22百万円、法人税等の支払額21億85百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、15億14百万円（前年同期は6億3百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、17億92百万円（前年同期は36億62百万円の使用）となりました。これは主に有利子負債の減少によるものであります。

(4)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種 類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年8月20日)	提出日現在発行数(株) (平成24年9月28日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	20,690,843	20,690,843	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	20,690,843	20,690,843	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額(百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成24年5月21日～ 平成24年8月20日	-	20,690,843	-	6,462	-	6,601

(6)【大株主の状況】

平成24年8月20日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
有限会社武蔵	新潟県三条市塚野目2丁目13番30号	2,418	11.68
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	1,600	7.73
アークランドサカモト取引先持株会	新潟県三条市上須頃445番地 アークランドサカモト(株)内	1,161	5.61
坂本 勝司	新潟県三条市	899	4.34
日本マスタートラスト信託銀行株式 会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	844	4.08
坂本 洋司	新潟県三条市	837	4.04
アークランドサカモト従業員持株会	新潟県三条市上須頃445番地 アークランドサカモト(株)内	687	3.32
坂本 晴彦	新潟県三条市	673	3.25
株式会社第四銀行	新潟県新潟市中央区東堀前通7番町 1071番地1	401	1.93
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オム ニバス アカウント (常任代理人 株式会社みずほコー ポレート銀行決済営業部)	WOOLGATE HOUSE, COLEMAN STREET LONDON EC2P 2HD, ENGLAND (東京都中央区月島4丁目16番13号)	368	1.78
計	-	9,891	47.80

(注) 1. 上記信託銀行の所有株式数は信託業務に係る株式であります。

2. 上記のほか、自己株式が410千株あります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年8月20日現在

区 分	株式数(株)	議決権の数(個)	内 容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 410,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,269,600	202,696	-
単元未満株式	普通株式 10,743	-	-
発行済株式総数	20,690,843	-	-
総株主の議決権	-	202,696	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が、600株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数6個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年8月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に対 する所有株式数の割 合(%)
アークランド サカモト(株)	新潟県三条市 上須頃445番地	410,500	-	410,500	1.98
計	-	410,500	-	410,500	1.98

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年5月21日から平成24年8月20日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年2月21日から平成24年8月20日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,677	2,448
受取手形及び売掛金	2,421	2,694
商品及び製品	10,180	10,560
その他	1,507	1,766
貸倒引当金	4	3
流動資産合計	16,782	17,465
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,531	27,026
土地	7,898	7,896
その他(純額)	1,540	2,179
有形固定資産合計	36,970	37,102
無形固定資産		
のれん	3	1
その他	1,986	1,961
無形固定資産合計	1,990	1,963
投資その他の資産		
投資有価証券	774	921
敷金及び保証金	5,613	5,643
その他	1,495	1,519
貸倒引当金	292	284
投資その他の資産合計	7,591	7,800
固定資産合計	46,551	46,866
資産合計	63,334	64,332
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,104	5,664
短期借入金	6,400	4,920
1年内返済予定の長期借入金	86	83
未払法人税等	2,244	2,092
賞与引当金	209	275
その他	3,262	2,621
流動負債合計	17,307	15,657
固定負債		
長期借入金	40	-
長期預り保証金	3,323	3,395
事業再構築引当金	2	1
退職給付引当金	268	277
役員退職慰労引当金	427	423
資産除去債務	1,061	1,072
その他	289	263
固定負債合計	5,412	5,434
負債合計	22,719	21,092

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,462	6,462
資本剰余金	6,603	6,603
利益剰余金	26,737	29,220
自己株式	638	638
株主資本合計	39,166	41,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	3
為替換算調整勘定	-	0
その他の包括利益累計額合計	6	3
少数株主持分	1,442	1,586
純資産合計	40,614	43,239
負債純資産合計	63,334	64,332

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)
売上高	49,156	49,187
売上原価	32,369	31,772
売上総利益	16,787	17,414
販売費及び一般管理費	11,794 ₁	12,661 ₁
営業利益	4,993	4,753
営業外収益		
受取利息	16	12
仕入割引	90	157
リベート収入	49	47
持分法による投資利益	54	48
その他	86	98
営業外収益合計	298	363
営業外費用		
支払利息	8	8
その他	1	2
営業外費用合計	10	11
経常利益	5,281	5,106
特別利益		
投資有価証券売却益	25	-
貸倒引当金戻入額	28	-
受取和解金	-	54
その他	0	-
特別利益合計	53	54
特別損失		
固定資産除却損	28	57
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	438	-
貸倒引当金繰入額	66	-
災害による損失	202 ₂	-
減損損失	-	17
解体撤去費用	-	43
その他	38	19
特別損失合計	774	138
税金等調整前四半期純利益	4,560	5,022
法人税、住民税及び事業税	1,966	2,033
法人税等調整額	101	19
法人税等合計	1,865	2,052
少数株主損益調整前四半期純利益	2,694	2,969
少数株主利益	122	181
四半期純利益	2,571	2,787

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,694	2,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	2
為替換算調整勘定	-	0
その他の包括利益合計	23	2
四半期包括利益	2,670	2,966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,548	2,784
少数株主に係る四半期包括利益	122	181

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,560	5,022
減価償却費	1,174	1,168
のれん償却額	1	1
受取利息及び受取配当金	18	14
支払利息	8	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	438	-
売上債権の増減額(は増加)	320	272
たな卸資産の増減額(は増加)	802	378
仕入債務の増減額(は減少)	814	560
その他	346	826
小計	6,203	5,268
利息及び配当金の受取額	6	2
利息の支払額	7	7
法人税等の支払額	1,729	2,185
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,472	3,078
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	456	1,321
無形固定資産の取得による支出	-	13
敷金及び保証金の差入による支出	284	211
敷金及び保証金の回収による収入	160	191
その他	22	158
投資活動によるキャッシュ・フロー	603	1,514
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,900	1,480
長期借入金の返済による支出	1,323	43
配当金の支払額	304	304
少数株主への配当金の支払額	29	36
その他	105	71
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,662	1,792
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	206	229
現金及び現金同等物の期首残高	2,673	2,677
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,880	2,448

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)												
1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">給与・賞与・雑給</td> <td style="text-align: right;">4,445百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">231</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">71</td> </tr> </table>	給与・賞与・雑給	4,445百万円	賞与引当金繰入額	231	退職給付費用	71	1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">給与・賞与・雑給</td> <td style="text-align: right;">4,825百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">275</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">10</td> </tr> </table>	給与・賞与・雑給	4,825百万円	賞与引当金繰入額	275	退職給付費用	10
給与・賞与・雑給	4,445百万円												
賞与引当金繰入額	231												
退職給付費用	71												
給与・賞与・雑給	4,825百万円												
賞与引当金繰入額	275												
退職給付費用	10												
2 平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う建物設備の修繕費及び商品廃棄等の費用であります。													

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている「現金及び預金」の金額は一致しております。	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている「現金及び預金」の金額は一致しております。

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年2月21日至平成23年8月20日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月10日 定時株主総会	普通株式	304	15.00	平成23年2月20日	平成23年5月11日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年9月21日 取締役会	普通株式	304	15.00	平成23年8月20日	平成23年10月18日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年2月21日至平成24年8月20日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月10日 定時株主総会	普通株式	304	15.00	平成24年2月20日	平成24年5月11日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年9月21日 取締役会	普通株式	304	15.00	平成24年8月20日	平成24年10月16日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	38,796	3,937	5,275	1,147	49,156	-	49,156
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	6,766	-	480	7,246	7,246	-
計	38,796	10,704	5,275	1,627	56,403	7,246	49,156
セグメント利益	3,225	677	716	360	4,979	14	4,993

- (注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	37,635	4,104	6,144	1,302	49,187	-	49,187
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	6,395	-	586	6,986	6,986	-
計	37,640	10,500	6,144	1,888	56,173	6,986	49,187
セグメント利益	2,569	655	975	538	4,739	14	4,753

- (注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 (固定資産に係る重要な減損損失)
 該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)
1株当たり四半期純利益金額	126円81銭	137円46銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	2,571	2,787
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	2,571	2,787
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,280	20,280

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

平成24年9月21日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- | | |
|-----------------------|-------------|
| (イ) 中間配当による配当金の総額 | 304百万円 |
| (ロ) 1株当たりの金額 | 15円00銭 |
| (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 | 平成24年10月16日 |

(注) 平成24年8月20日現在の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対し、支払を行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年9月27日

アーランドサカモト株式会社
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	加藤 真美 印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	小沢 直靖 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアーランドサカモト株式会社の平成24年2月21日から平成25年2月20日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年5月21日から平成24年8月20日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年2月21日から平成24年8月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アーランドサカモト株式会社及び連結子会社の平成24年8月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。